

震災復興フォーラム

七ヶ浜町で考える「復興と住民自治」

東日本大震災による被災を受け、国・県・市町村が復興基本方針や復興計画(以下、復興計画)を策定しています。

被災地の住民には、国・県・市町村による3層の復興計画が同様に関わりますが、どの計画が暮らしのどこに影響するのか？自分の考え(民意)を誰に訴えればいいのか？曖昧な理解のまま、知らないところで復興計画の策定が進行しているのが現状です。

戦後この国は、ある意味中央集権体制によって驚異的な復興を果たしました。経済成長が進むとともに、社会基盤の整備は進み、国民生活は豊になり、住民ニーズが多様に変化する中、地方分権の推進も図られてきました。

しかし、東日本大震災は今まで築き上げた地域社会を、一瞬に突き崩しました。

それと同時に、分権の理論を復興にそのまま当てはめて、国・県・市町村の役割を考えてよいのだろうかという問題を、我々に提起しています。

また、コミュニティ意識が希薄になる一方、遠方からのボランティア支援やNPOの活躍等、地域の再興に向けた新たなコミュニティの可能性をどうやって最大限に引き出し、地域の絆を再生させるべきなのでしょうか。

廣瀬克哉氏*****

ところで、東日本大震災は、自治体学会に重い課題を投げかけています。被災当事者や被災自治体の意思を最大限尊重した復旧・復興でなければならないという命題と、人も自治体も単独では生きていくことができないという圧倒的な現実の間の折り合いをどうつけていくべきなのか。

別な言葉で表現するならば、一定の集権的な措置が無ければ、現実を前に進めていくことが困難であることが明らかであるなかで、分権的な市民主体、自治体主体の復興のみちすじを確保していくことは果たして可能なのか。そしてまた、それがより良い成果を生むことが確信を持って主張できるのか。同様の関係は、市民や地域コミュニティと自治体との関係にもあてはまります。極限的な事態を前にして、私たちの社会を根底から問い直しながら答を見つけていなければならない、重い宿題です。

*****自治体学会ニュースレターNo. 150 表紙より抜粋

当フォーラムでは、特定の町(七ヶ浜町)を取り上げ、実際の復興計画案を例示しながら話合います。

地域特性や被災状況等の前提が異なるため、話し合いの俎上へのせるのは個別具体のものになりますが、ミクロな視点で突きつめていく先に、他の地域でも活かすことが出来る普遍的な原理を見つけることができれば、と考えています。

【日時・場所】

平成 23 年 11 月 26 日(土) 12 時半～3 時

七ヶ浜町役場(水道事業所 2 階会議室)

宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺 5-1 (TEL022-357-2111)

公共アクセス JR 仙石線本塩釜駅で町民バス「ぐるりんこ」に乗り換え

【内容・出演者】 復興計画と自治・分権について、生活者の視点から考える

- 1 挨拶・渡邊善夫氏(七ヶ浜町長)
- 2 七ヶ浜町と宮城県の復興計画、国の復興基本方針(以下、復興計画)策定に関わる方から、計画の概要や意図、背景、効果等を解説してもらいます。
 - ・町の視点：遠藤裕一氏(七ヶ浜町政策課係長)
 - ・広域の視点：飯川斉氏(松島町震災復興計画検討会議議長・自治体学会会員)
 - ・国の視点：石山敬貴氏(衆議院議員)
- 3 そして、これら 3 層の復興計画がどうあるべきなのか、生活者自身はどう関わればよいのか、有識者からアドバイスをもらいながら、会場との意見交換を通して地域の復興を考えます。
 - ・有識者の視点：廣瀬克哉氏(法政大学教授・自治体学会会員)
 - ・司会進行：矢野奨氏(河北新報社塩釜支局長・自治体学会会員)

【ご参加ください(参加無料)】

- ・七ヶ浜町で暮らしている方、働いている方
- ・自治体学会会員
- ・ほか、まちづくりや復興に意欲のある方

申込みは、jigakutohoku@yahoo.co.jp または FAX022-367-1507 宛てに、氏名・所属(または住所)をお知らせください。

【主催】

自治体学会東北 Y P

【後援】

七ヶ浜町

自治体学会(このフォーラムは自治体学会の地域活動支援金を受けています)

～ 復興を誓って、前へ。がんばろう 七ヶ浜！！ ～

「七ヶ浜町で考える復興と住民自治！」

～ 復興を誓って、前へ。がんばろう七ヶ浜！！ ～

開催日 2011年11月26日(土) 12:30 ~ 15:00

開催会場 七ヶ浜町役場(水道事業所2階会議室)

(宮城県七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1 TEL:022-357-2111)

開催趣旨

がんばろう東北

七ヶ浜町・宮城県・国の復興計画策定に関わる方から、計画の概要や意図、背景、効果等を解説してもらおう。そして、これら3層の復興計画がどうあるべきなのか、生活者自身はどう関わればよいのか、有識者からアドバイスをもらいながら、会場との意見交換を通して地域の復興について考えます。

開 会 12:30~

宮城県七ヶ浜町長 渡邊善夫 氏

絆

宮城県七ヶ浜町

パネルディスカッション 12:40~15:00

■パネラー

町の視点: 遠藤裕一 氏 (七ヶ浜町政策課係長)

広域の視点: 飯川 齊 氏 (松島町震災復興計画検討会議議長・自治体学会員)

国の視点: 石山敬貴 氏 (衆議院議員)

有識者の視点: 廣瀬克哉 氏 (法政大学教授・自治体学会企画部会長)

■コーディネーター: 矢野 奨 氏 (河北新報社塩釜支局長・自治体学会員)

主催: 自治体学会東北YP 後援: 七ヶ浜町・自治体学会

震災復興フォーラムプログラム

1 開 会	12:30~	
2 来賓あいさつ	12:35~12:40	宮城県七ヶ浜町長 渡邊善夫 氏
3 パネルディスカッション	12:40~14:30	<p>「七ヶ浜町で考える復興と住民自治！」 ～ 復興を誓って、前へ。がんばろう七ヶ浜！！～</p> <p>■パネラー 町の視点：遠藤裕一 氏（七ヶ浜町政策課係長） 広域の視点：飯川 斉 氏（松島町震災復興計画検討会議議長・自治体学会員） 国の視点：石山敬貴 氏（衆議院議員） 有識者の視点：廣瀬克哉 氏（法政大学教授・自治体学会企画部会長）</p> <p>■コーディネーター：矢野 奨 氏（河北新報社塩釜支局長・自治体学会員）</p>
4 質 疑	14:30~15:00	
5 閉 会	15:00	

アクセス



申込方法

- 氏名・所属（または住所）・連絡先を、Email 又は FAX でお申し込み下さい。
E-mail: jigakutohoku@yahoo.co.jp
FAX: 022-367-1507
- 先着順で定員(100名)に達し次第申込みは締め切らせて頂きます。

お問い合わせ

- 自治体学会東北 YP
E-mail: jigakutohoku@yahoo.co.jp
FAX: 022-367-1507
(担当: 矢野)

震災復興フォーラム参加申込書【申込期限：平成23年11月19日】

1 FAX

この申込書に必要な事項記入の上、下記までお送り下さい。

FAX：022-367-1507

2 電子メール

この申込書に必要な事項記入の上、下記までお送り下さい。

E-mail：jigakutohoku@yahoo.co.jp

団体名等			
住所	〒		
電話		FAX	
電子メール			
参加希望者			
NO	氏名	備考	
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

※住所・氏名・電話・FAX・電子メールなど個人情報は、当フォーラムに関するご連絡以外には使用しません。